

刊夕 日九廿月五



定価一冊金... 発行所 常磐毎日新聞社

自由律俳句評釋

飯田 野川

かう並べて、句の優劣を比較しやうとすれば、勿論前句の方がよいだらう。併し、この句に、一つの缺點がある。と云ふのは、『からつ風』の直ぐ『橋が一つ』といふ續き具合が面白くない。かう『からつ風』と云ふものを、『橋』につけて了ふと、生々とした印象が出て來ない。丁度かしらへたねん土細工のやうな句になるのだ。『層雲』にはこの型の句が少なからずあるが、危いところだと私は思ふ。さう云へば、私には後の句がよくつて來る。

この句にはこしらへた所が微塵も無く單純化されてゐる。併し、餘りいゝ句ではない。二角の句よりはいい。◇わかれを云ひて幌おろす白いゆびさき (牧哉)

こんな表現は絶対に舊俳句にはないだらうと思ふ。こんな情景を掴んで來たのを見た事がない。今やかなしき別離——今別れてはいつ會へるやらと思つて、じつと車上の人を見る。白い指先とあるから女の人らしい。

『それでは……』と云ふ女客。『さううな』

ら』と云つて車は走り出した。到底定型俳句では表現出來ない情景である。放哉は巧みに別離の瞬間を捉へて來た。

これで今度は先づ筆を擱かう。また機會があれば筆を執りませう。(完)

九・五・一



死への歩調

仲村花醉

どうしても死ねと云ふのか——

百度を超ゆる炎熱と

干岳を洗ふ怒濤の襲撃にあつ

どれだけ耐え闘つて來た事か——

負けるものか——

負けるものか——

(それは魂の活脈だつた)

然し……宿命の落は冷めたかつた

總ての闘争を呑んで

關の中に横伏する銀波がひそ〜と郷愁の涙が誘つてゐる——

もう死ねと云はなくとも

良い

俺は死なうよ

耳鼻咽喉科専門 和田大醫院

平町南一丁目七番

市原醫院

平町田町電話一四番

露披御車新

三四年型デラックスセダンが入荷致しました。貸切の御用命の節は電話六八五番へ……是非御試乗の程を願ひます

三井タクシー 電話六八五番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠 副院長 新潟醫學士 赤羽 清 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科 平町田町 電話五一三番

漆器の御用は皆様の丸共へ御用命下さい……卸賣特に御務め勉強致します。

景品賞品類 進物贈答品 恩賜賞與品 記念表彰品 各國産漆器 共榮漆器店 平町三丁目北裏通

店員募集

本年尋卒 仕着 小使月三圓 同高小卒 仕着 小使月五圓 外交員十八九才より三十才迄

耳鼻咽喉科専門

入院 應需 山内醫院 醫學士 山内亨吉 電話六九一

吸入用尿酸素純度99%

度量衡 温度計 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス 關内藥局 電話四〇番

關内藥局

寫真材料一式販賣致シマス

特選五月人形大賣出し

日嗣の皇子の御誕生を仰ぎ一會お芽出度い端午のお節句に特選の武者人形を始め古代變り人形、内職其他お道具類一式華かに陳列致しました。是非御來店を御待をして居ります。 平町本通り三丁目 落花生問屋 叶星 加藤商店

一丁目フクダヤの

五月人形鯉のぼり

大賣出し

かしこくも 皇太子殿下と節句を同じふする光榮此の上なき御子供様を祝福しておなじみのフクダヤは奉仕の大勉強いたします 武者人形 八十錢より 鯉のぼり 壹圓五十錢より 具足飾 貳圓五十錢より 御座敷飾セツト 六圓より百五十圓迄

一疊敷きの大龜 酒四升をへろり

豊漁の前兆間違ひなく 大敷網が鯛二千貫漁獲 豊間濱の賑ひ

昨二十八日午後四時頃豊間大敷網で網を引上げやうとしたところ仲々重くて大騒ぎとなつたが網の中からは長さ六尺巾三尺重量五十貫も、ある甲羅苦むす大海龜がヨタ／＼と現れた。漁師連は大漁の前兆とばかり大喜びで酒四升を飲せて海中に放してやつた

が何しろ地方には稀有の大龜で人間が三人も甲羅の上に乗つてもビクともしせず見物人が殺倒して大賑ひであつたがその爲めかは知らぬが當日の大敷網は鯛二千貫以上の大漁で水揚げ相場十二割の安値！近來にない豊漁に豊間村は活氣を呈してゐる

勇士を慰むる 譽れの芳名録

亡き鵜沼水兵の 靈前に献ぐ

鹿島村では上海事變の劈頭上海市街戦で名譽の戦死を遂げた同村大字下矢田出身陸戦隊付二等水兵鵜沼義光君の英靈を慰める爲め過般來當時の陸戦隊長植松少將始め海軍側高官名士に署名を請ひ追悼芳名録二部を作製中の處大体まとまつたが同芳名録は義光君嚴父忠吉氏宅及び役場に各一部宛永久に保存するものであると

樽二十本 リヤカで盗む

四倉町峴川魚行商水上幸次郎(三)は去る二十三日午前三時頃大浦村字細谷相澤忠次郎方より酢二升入樽三本その他空樽十七本を積んであつたりヤカー一臺を窃取した事發覺昨日四倉署に檢舉されたが取調べの結果餘罪二件を自白した

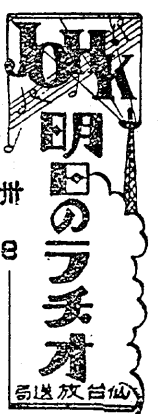
愛婦出席 多數勧誘

愛國婦人會平町分會では來月三十日福島市に開かれる

遠足にはぐれ 汽車を見て驚く

山家育ちの怪童平署に

昨二十八日午後七時頃赤井村高萩地内をウロ／＼してゐる舉動不審の怪少年を同村駐在布施巡査が發見、取調たが一向要領が得ないので一先づ平署に引連れ一夜保護を加へた上訊ねた處同少年は三坂村大字古内阿三郎長男三坂小學校高等科一年生佐藤達夫(一)で昨日同校の赤井岳遠足に參加し途中一行にはぐれて一人山中を逍遙し漸く赤井村に出たが何しろ今迄山家住ひの身で生れて初めて見た自動車や汽車が物珍らしくあちこちと歩いてゐる中夜間になつて途方に暮れてゐたものと判明した



明日の天気

今晩も明日も南西の風曇雨模様

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 齊唱と合唱 JOA K 唱歌
- 後六、二五 公民常識講座 「農業經營」 寺澤保房
- 後七、三〇 講演「醫術の社會化の利弊」 暉峻等
- 後八、〇〇 歌謡曲 豆千代
- 後八、二〇 義太夫「壇浦兜軍記」 阿古屋琴責の段「竹津津太夫他
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

裁判所たより

- △双葉郡浪江町字權現堂居住木挽職横山正吉(一)が去月四日午後六時頃平町町熱心湯事件喜三郎方で入浴中の正月町青物商木村龜作の胸巻から現金四十圓を窃取格闘せる際龜作の頭部に重傷を負した事件は準強

朝鮮酌婦 前借を踏み

郡下に潜伏

宮城縣築館町小山町二七料理屋業杏股杉方抱へ酌婦朝鮮女ユキ子事杏日仙(三)は二十六日豫て馴染みの鮮人加藤要吉こと朴又福(三)と共謀して前借二百五十圓を踏倒して石城郡の炭山方面に逃走したが湯本町青葉一

偽證文の借金 三千七百圓詐取

昨日懲役一年言渡さる

既報宮城縣鹽釜町生れ當時湯本町居住荒川せつ(三)が昭和七年八月から本年四月廿日迄に借用證書を偽造して同町千葉テラ外五十餘名から百六十餘圓に亘り三千七百圓を騙取した私文書偽造行使詐欺事件の公判は昨廿八日午後二時より平區才判所法廷で中島監督判事係

明日の部

- 前六、三〇 基礎英語講座 (二三)岡倉由三郎
- 前七、二〇 聖典講義「キリスト教の中心思想」三今井三郎
- 前九、一〇 料理献 立鳥賊のけんらんむし 佐藤百合子
- 前一〇、三五 家庭婦人講座「夏と皮膚の病」醫學博士田村一
- 後〇、〇五 滿洲より
- 後二、〇〇 家庭大學講座

回職を求めめる方

- △配達夫 十五―二十才 尋卒以上 給料面談
- △農夫 二十一―五十才位 十圓位
- △配達夫 十四五才 尋卒 月五圓以内
- △回職を求めめる方
- △事務員 二十七才 佑賢 卒
- △給仕 十七才 高卒
- △トラック助手 二十六才 高卒
- △土工夫 四十四才 尋二 修
- △魚屋店員 二十九才 尋
- △給仕 十九才 高一修
- △機械工 二十二才 高卒
- △自動車修繕工 十八才 高卒

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町 電一七〇番

浮名新立頭

(兼助殿上段及上段)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

四四

盃を返しやるぞ

法華は腹を立て

「ア、飛んだことをし
た」
といふ處へ子分が追々歸
つて参りました。

「何うした知れたか」

「乃公ア藏前の方へ逃げた
と思つて駒形まで往つたか
見へねえから歸つて来た」

「汝は何處へ往つた」

「乃公は必然上野の方だと
思つたから、菊屋橋まで追
つ驅けたが目つからねえ」

「貴様ア何處へ往つた」

「吉原だと思つて田町まで
行くとポイント突當つて轉ん
だ」

「小平にか……」

「ナ、知らねえ奴にさ加
之に毆打れて斯んなに瘤が
出来た」

「貴様は何うしたえ」

「到底發見ねえと思つたか
ら、藥湯へ這入つて歸つて
来た」

「何んだ氣樂な野郎だ、音
貴様は小平の酒の相手をし
て居たぢやアねえか」

「ア、酒の相手をして居る
と、口取を持つて来いと云
ふから、次の間へ取りに往
つた、さうすると駈け出し
た」



「エ、お頼み申します……」

「往つて見ろ、誰か来たや
うだ」

「ハイ」

「エ、お頼み申します……」

「此處等ア片付けて此方
へ通せ」

「ヘエ……此方へ御通り
を願ひます」

「有難う存じます」

「と奥へ通せ」

「なぜ捕まへねえんだ」
「驚いた拍子に、手に持つ
て居た口取を落して、慈姑
のきんとんがあつたから、
其を喰つて、蒲鉾を喰はう
と思つて居る内に、見へな
くなつて了つた」

と玄關へ出て驚いて飛ん
で戻り
「親分々々大變だ……」
「何んだ」
「幡隨院の長兵衛が来た」
「モ、来たか」
「え長刀を打込んで、提灯
下げて遣つて来ました」
「小平も一緒に来たか」
「小平は見へません」
「大勢来たか」
「二百人許り来ました」
「三百人許りで家を取巻い
たか、夫りやア失策だな」
「イエ、だらうと思ふんで」
「何をいつて居やがるんで

「ヤ此りやア幡隨院の元締
先刻は大きに失禮を致しま
した、亦不作法にも刀の鞘
を拂ひは拂ひましたが、然
し血を見ずして納まりまし
たは何より重疊、雨降つて
地固まりますと申しますか
ら、何卒何分願ひます」
「私方でもその通りでござ
います、何卒幾久しうお最
負を願ひます」
「シア今晩は何御用……」
「早速親分申上げますが、
先刻の脇差の事でございま
す」
「脇差は先刻確に御返し申
したではないか」
「イエその事でございます
先刻一寸抜きましたから双
纏れ或は曇りでも出来ては
親父より授かりました品ゆ
ゑ、大變と心得て、宅へ歸
つて改めて見ると違つて居
ります、貞宗といふ在名で
代りになつて居るのは秋廣で
ございます、よつて此刀も
正宗十哲の一人……必ず
親分が悪い箇で摺替たん
ぢやアねえ、土手でお預け

申して田町まで参り、歸り
に遠くから見ると、子分衆
が差替へたり符めたりして
ゐなすたから、その時多分
符め違へて急いで私にお渡
し下すたものと考へられま
す」

店主	が	店員
を	連	れて
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	
喫	茶	
食	堂	
平・田町		
レストサロン		
電話三五二番		

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七

開業

- 一、診療科目
 - 一般
 - 補綴
 - 矯正
 - 正科
 - 齒槽膿漏科
- 一、保存科
 - 小兒齒科
 - 外科
 - レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科 中野 惠次
日本齒科 西川 誠
醫學士 松尾 尚也
平町田町(松尾堂向)電話五〇九番

有給外務員招聘

▽日掛は金十錢以上金五十錢迄あります
▽六ヶ月以上御掛けに成れば一ヶ月前
貸致します
▽一ヶ年御掛けに成れば年五分に相當す
る配當があります
商品日掛販
賣の權威
平町南町一九
一徳合資會社平支店
出張所 四倉町本町九九
湯本町

34年型新車購入

かすめて 頬を海邊に 乘り非愛
微風が 野邊に 一の 是御
吹く…… リーベの 一私用ニ
アタの 一御私用ニ
散策に 一御私用ニ
乗下さい。 ニュー・カーを！
快ろよい 散策に 乗下さい。 ニュー・カーを！
セリザワの ニュー・カーを！

平。三 芹澤タクシー 電 395

評判で香りのよい

電熱ほうじ茶發賣

- 一號 一斤六〇 四半斤一五
- 二號 一斤四〇 四半斤一〇

大黒はしらは家の王
お勝 手道具は世帯王
大勝園で買った茶は
茶問のの王よ客問王
父様母様 おすきの茶
客のほめる 茶喜ぶ茶

平三 大勝園

電三九六番